

追跡レポート

不法投棄ゼロを目指して

■「播磨町不法投棄等監視カメラ」の設置及び運用等に関する要領
町内で廃棄物の不法投棄などを防止し、不法投棄などをした者を特定します。また、不法投棄された廃棄物の撤去、回収、処分を指導することなどを目的として設置する防犯カメラの設置および運用に関し、必要な事項を定めています。

■移動式監視カメラ設置
不法投棄の抑制を図り、ごみ集積場を適正に運用するため、令和3年10月から、ごみ集積場に移動式の監視カメラを設置しています。

最大4カ所に設置し、不法投棄が多い集積場から順次設置しています。監視カメラの設置により、人を摘発するだけでなく、集積場の不法投棄されやすい原因を把握する目的もあります。防止



策について、自治会と一緒に考えていきます。

■不法投棄の抑止に効果
町が収集するごみ集積場が447カ所、粗大ごみ集積場は127カ所あります。
令和3年12月末現在、移動式監視カメラを設置したごみ集積場では、不法投棄の抑止に効果が見られました。

■移動式監視カメラ設置の申請
設置を希望する場合は、すこやか環境グループに申請してください。

町議会は、まちの予算や身近な問題について話し合う大切な場です。次回定例会の予定をお知らせします。

【6月定例会の日程】

- ▶日時 5月31日(火)・6月7日(火)・8日(水) いずれも午前10時～(6月7日、8日は一般質問を予定しています。)
- ▶場所 第1庁舎3階 議場
*車いすの方も昇降機により入場し、傍聴していただけます。
- ▶請願・陳情の締め切り 6月定例会で取り扱う請願と陳情の締め切りは、5月23日(月)午後5時までです。
*当日は、インターネットで本会議の生中継を行います。過去の映像は常時放映中です。
町議会のホームページから「会議中継」を選びクリックしてください。

傍聴される方へのお願い(新型コロナウイルス対応)

傍聴を希望される場合は次のことにご協力をお願いします。

- ・発熱、せきやのどの痛みがあるなど、体調不良の方は傍聴をご遠慮ください。
- ・議場に入られる際は、入り口に設置してある消毒液で、手の消毒をしてください。
- ・傍聴の際は、マスクを着用してください。

感染症拡大の防止および皆さまの健康を守る観点から、ご理解とご協力をお願いいたします。

●問い合わせ 議会事務局 ☎079-435-2387 (Eメール gikai@town.harima.lg.jp)

水道料金改定の内容は

日本共産党代表
のきたともみ
野北 知見



町長 ▲基本料金を高くせざるを得ない



▲私たちの生活に欠かせない水道水

問 水道料金の改定について現在、上下水道運営委員会が議論されている。単身世帯など使用料の少ない世帯の負担が大きくなりすぎないように検討すべきでは。

答 水道事業は多くの施設を抱えていることから固定費の割合が高く、基本料金の割合を高くせざるを得ない状況である。使用水量が少ない世帯への負担増の抑制などを検討している。

問 運営委員会で示されている案では、一般家庭で主に使用する口径20ミリメートル以下の基本料

金の引き上げ率が1.62倍である。このような多くの住民に直接影響する改定案は、事前に住民に示すべきでは。

答 議員は住民の代表であり、議会や委員会に提案した段階で、住民の方にも提示していると考えられる。住民の方には議会の議決後に、最終決定を公表する。

町長 ▲高齢者補聴器購入補助は町の動向を注視し

問 高齢者の補聴器購入補助制度について、令和3年6月定例会で取り上げたが、県の令和4年度予算(案)に、高齢者補聴器購入補助制度の導入事業が盛り込まれた。この事業について見解は。

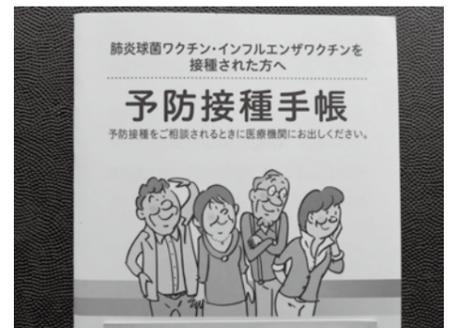
答 県のモデル事業は、補聴器のニーズや社会活動への参加など、補聴器使用による効果について検証するものと理解しており、その動向を注視していく。

肺炎球菌ワクチン助成拡充を

公明党代表
おおたき きんぞう
大瀧 金三



町長 ▲将来的に実施の可能性も



▲ワクチン接種の時の予防接種手帳

問 65歳以上から接種している肺炎球菌ワクチンは1回だけの助成となっている。5年以上経過すると抗体が薄れてしまうと言われている。健康寿命を延ばすためにも2回目の接種に助成できないか。

答 高齢者にとって肺炎球菌ワクチン接種は大切な接種であると考えられる。新型コロナウイルスで医療機関にお世話になっている状況であるので、ワクチン接種が落ちていたら将来的に考えていく可能性もある。

問 大人の風しん予防ワクチンの抗体検査や接種費用の助成が3年間延長された。現在までの検査や接種状況は。

答 対象者は約4千人余りで、抗体検査を受けられたのは、3割弱の方である。全国的にもコロナ禍による受診控えで抗体検査が進んでいないので3年間延長された。

町長 ▲早期発見に努めている

問 実態把握については、非常に難しい一面もあるが、現在までのヤングケアラーの悩み相談や支援などの状況は。

答 現在のところ、ヤングケアラーとしての相談はないが、学校では、日頃から児童生徒の些細な変化に気を付けて、支援が必要な児童生徒の早期発見に努めている。

その他の質問
▼無電柱化の推進を